



第14回NFAフットサル大会 結果 (1/3)

エスタディオ成田が、2年ぶりに王座に返り咲く

- 主催：成田市サッカー協会 ■主管：市協会6種部会 ■協力：市協会審判部
- 開催日：令和5年2月26日(日) ■会場：成田市中台体育館 ■協賛：
- 運営：宇野（市協会会長）、飯島（6種理事）、濱田（総務部門理事）、江角（兼・総務部門広報部）、斎藤（規律委員会委員長）、林（審判部門理事）、関谷（競技部門理事）、坂田（技術部5種選抜理事）、飯嶋（総務部門：広報部）

《大会結果》試合形式は参加チーム数が少ないこともありリーグ戦全4戦（FC NFA戦を除く）で順位を競います。※FC NFAは個人参会者用のチームとし勝敗は順位に影響しない。ちなみに女子選手の参加がありました。予測は本命筆頭に優勝歴ありのエスタディオ成田で、対抗の成田1種勢のランゴスタFCやネビュラが勝手が違うフットサルでどこまで力を発揮できるかとみられました。

大会結果は序盤戦でエスタディオ成田がネビュラに粘られて分けたが、続くランゴスタ戦で接戦の末に1点差で破り3戦終わって2勝1分、このまま最終（NAS）戦に勝利すると、追うランゴスタ（この時点で2勝1敗）が最終（香取オーシャンズ）戦に勝っても優勝が決まります。その最終戦の対FC NAS戦も口火の1点までまではやや時間がかかったが、その後は立て続けに得点を重ね、終わってみれば8-0の圧勝。2大会ぶりに王座奪還しました。2位はランゴスタ、3位はそのランゴスタに痛い負けを喫したネビュラとなりました。

～2022年度F大会 試合結果～

	ランゴスタFC	FC NAS	香取オーシャンズ	ネビュラ	エスタディオ成田	FC NFA (オープン)	勝点	得点	失点	得失点	順位
ランゴスタFC	-	○	○	○	●		9	18	6	12	2
FC NAS	●	-	○	●	●	●	3	4	16	-12	4
香取オーシャンズ	●	●	-	●	●	○	0	2	22	-20	5
ネビュラ	●	○	○	-	△	●	7	11	6	5	3
エスタディオ成田	○	○	○	△	-	●	13	18	3	15	1
FC NFA (オープン)	○	○	●	○	○	-		11	6	5	6



■宮本CAPコメント：令和2年大会で優勝したメンバーよりは力は劣るが声を掛け合って団結力で戦った。王座を奪還出来て嬉しい。



■準優勝：ランゴスタFC



■優勝：エスタディオ成田



■得点王：高石選手(7得点)



■女性唯一参加のギルズナン 優子さん

第14回NFAフットサル大会 2/3 (チーム紹介)

今回大会は、参加5チーム+FC NFA（オープン参加者用）の大会歴代最小参加の6チームで競います。優勝候補は前々大会優勝のエスタディオ成田、対抗は1種社会人リーグ最強のネビュラ、そしてストライカー高石選手を要するランゴスタFCが有力とみられました。大会常連の香取オーシャンズ、二大会連続参加のFC NASも上位を狙います。



■ 香取オーシャンズ対FCランゴスタの攻防



攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力



攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力

■ エスタディオ成田 (R2年度大会優勝チーム)



攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力

■ ランゴスタFC (成田1種加盟チーム)



攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力

■ ネビュラ (成田1種加盟チーム)



攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力

■ FC NAS (大会連続参加)



攻撃力
守備力
フィジカル
スピード
技術
組織力

■ 香取オーシャンズ (大会常連)

■ FC NFA、オープン参加者用チーム、唯一の女性参加あり

第14回NFAフットサル大会 大会経緯と概要 (3/3)



■NFAフットサル大会の開催経緯■

平成19年（2007年）に新しいサッカーニーズを取り込むため、フットサルリーグ実行委員会が新設され、事業も同年5月に成田Fリーグ開幕記念プレ大会を開催された。当時クーバ成田学校講師だった田辺氏率いる《chaco・チーコ》が優勝。同年6月より協会初フットサルリーグ戦もスタートし、チャレンジ成田Fリーグ（全28試合／チーム）と称され全8チームが熱戦を繰り広げ、初代王者には《遠山FC》がいたが参加チーム激減や運営の煩雑さも有り翌年には単発大会となりました。

その後、平成21年に1種事業として大会名も「NFAフットサル大会」と改称しアリーナ2面コートでの運用としたが、のちに全面1コート化してFIFAルールにも準拠した。平成22年には6種部会を新設し分離独立。大会成績は初期の第1回～8回で玉造SCが6回優勝の独壇場、その後NAAが第8回（H28年）第9回（H29年）と2連覇、最近ではレジェンドが第11回（R1年）、エスタディオ成田が第12回（R2年）、フットモンキーが第13回（R3年）など新チームが王座についている。

第14回を迎えた今大会も開会式を省略、会場入り前に体温測定や健康管理カード提出など、感染予防対策を実施。大会規模は大会上位常連のフラクチャーズや前回優勝フットモンキー、大会常連のやまくまなど軒並み不参加で、全参加5チーム+FC NFA（オープン参加者用チーム）と少ないながら1種強豪ネビュラやランゴスタFC、昨年大会から参加のNAS他の参加もあり和気あいあいながら真剣なプレーで盛り上げてくれました。

【歴代大会成績】

大会(開催年度)	参加数	優勝	準優勝	第3位	得点王/備考
第1回(H21年)	8	玉造SC【A】	アギラス	玉造SC【B】/バレンチノ	■得点王:不明■玉造SCが初代覇者と成る
第2回(H22年)	12	玉造SC【A】	玉造SC【B】	酒々井FC/FC M	■得点王:不明■玉造SC連覇成る(+準優勝)
第3回(H23年)	12	Optimisa FC	玉造SC【A】	ガンナーズFC FC Solomon	■得点王:関根季之(ガンナーズ)■Optimisaが急浮上、玉造SCの大会3連覇阻止
第4回(H24年)	6	玉造SC【A】	サポターズ	Optimisa FC	■得点王:本田哲也(玉造SC) enjoy部門併用開催
	3	FCボレイロ成田U12	NFA50	なでしこPLUSL	■エンジョイの部
第5回(H25年)	12	玉造SC【A】	玉造SC【B】	玉造SC【C】	■得点王:不明■玉造SC1～3位独占の快挙
第6回(H26年)	10	玉造SC	レジェンド	エスカータ/ワンマン	■得点王:黒川和樹(玉造SC:8点)
第7回(H27年)	15	ルーキーズ	玉造SC【B】	レジェンド	■得点王:不明■玉造SC4連覇を阻まれる
第8回(H28年)	15	玉造SC	エスカータ	ルーキーズ	■得点王:山崎 舟(玉造SC)・清水 剛(ルーキーズ)・藤井 樹(IUHW narita FC【B】)
第9回(H29年)	12	NAA	栄ハーバーライツ	玉造SC【C】	■得点王:斉藤 (IUHW narita FC)●点
第10回(H30年)	15	NAA	SPORT BOYS-B	Good WorK J	■得点王:郡司 (Good WorK J)●点
第11回(H31/R1年)	12	レジェンド	ガンナーズ井筒	ブルーシュリンプス	■得点王:後藤(フラクチャーズ)、田中(ブルーシュリンプス)、土田(NAS)●点
第12回(R2年)	10	エスタディオ成田	ブルーシュリンプス	栄ハーバーライツ	■得点王:郡司(レジェンド:8点)
第13回(R3年)	8	フットモンキー	フラクチャーズ	エスタディオ成田	■得点王:影山(フラクチャーズ:6点)
第14回(R4年)	5	エスタディオ成田	FCランゴスタ	ネビュラ	■得点王:高石(FCランゴスタ:7点)



■第14回大会試合写真